



『世紀の幽霊』 —量子もつれへと向かう

発売 2024年
月 日!

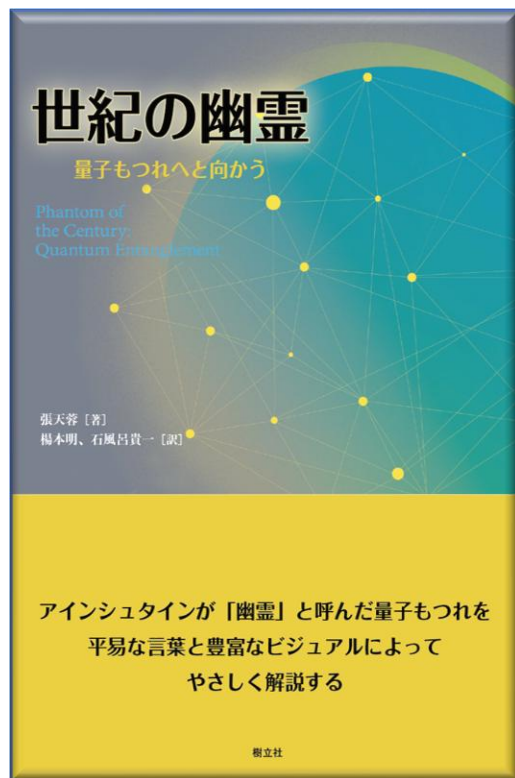
定価: 本体 4,800 円 + 税
212頁 A5 上製 C3055
ISBN 978-4-910326-12-2
対象年齢 中学生から

➤ アインシュタインが「幽霊」と呼んだ量子もつれを
平易な言葉と豊富なビジュアルによってやさしく解説する

- ❖ もし誰かが「物理学界には 100 歳以上の『幽霊』がいる」と言えば、あなたは信じるだろうか？物理学が「幽霊」と関わっているのは間違いなく奇妙なことである。
- ❖ 本書では、一般の人々に神秘で奇妙な量子もつれを紹介するために、可能な限り通俗的な言葉を使用する。
- ❖ 多くの人々は、些か奇妙に聞こえる量子理論を「天書」と見なし、敬遠する。本書の執筆動機は、ズバリ人々に量子力学についてより多くを理解し、知識を深めることであり、本書によって「深入り」までは行かずとも、「近づく」ことはできるかもしれない。

【目次】

序言 量子世界の啓示	第 13 章 ゴーストイメージングと量子消去
第 1 章 「シュレーディンガーの猫」より語ろう	第 14 章 量子ビットとは
第 2 章 量子という「小さな妖精」	第 15 章 ファインマンの口添え
第 3 章 神はサイコロを振るか？	第 16 章 三光子の舞
第 4 章 世紀の争い	第 17 章 量子暗号化
第 5 章 ディラックの世界	第 18 章 量子コンピューター
第 6 章 もつれる妖精	第 19 章 量子ステルス送信
第 7 章 コペンハーゲン学派の最後の巨匠	第 20 章 連続変数ももつれる
第 8 章 アインシュタインの夢を追って	第 21 章 世紀の幽霊のベール
第 9 章 ベルの不等式	第 22 章 「シュレーディンガーの猫」を解説する
第 10 章 量子状態、重ね合わせ、もつれ	附録 A ディラック方程式
第 11 章 実験室における光子	附録 B ヒルベルト空間とディラックの記号
第 12 章 実験による最終判断	附録 C 量子ビット



【著者紹介】 張天蓉 (ちょう・てんよう)

1978 年、中国科学院理論物理研究所で大学院生として学び、1980 年にテキサス州オースティン大学物理学部に留学し博士号を取得、ブラックホール放射に関する研究を行った。現在はシリコンバレーの Sunrise Inc. 社の技術主任として、電子設計自動化ソフトウェアの開発に携わっている。『世紀の幽霊：量子もつれに近づく』『バタフライ効果の謎：フラクタルとカオスに近づく』『数学物理の楽しみ：無限小から始める』等の書籍を出版し、その文体は奥深い文章を平易に理解させ、興味深く、また科学的な厳密さを保っている。

【訳者紹介】 楊本明 (よう・ほんめい)

1982 年生まれ。上海理工大学外国語学院教授。上海外国語大学で修士号、博士号を取得。九州大学比較社会文化学院に国費留学。長年、幅広い分野の実務翻訳に携わる。主な訳書に『春琴抄』、『書道講座』、『内向型人間だからうまくいく』などがある。
石風呂貴一 (いしふる・きいち)
1991 年生まれ。河南大学歴史文化学院修士課程修了。2015 年「いちたか風郎」のペンネームで新紀元社『世界帝王辞典』の執筆に参与し、作家・翻訳活動を始める。2020 年より日本人の中国語教育事業『ぶっちゃけ神速中国語講座』を運営中。近年は、様々な中日・日中翻訳に携わる。

注文書		樹立社 FAX:03-6261-7897 【新刊委託】	
	部	『世紀の幽霊』 —量子もつれへと向かう ISBN 978-4-910326-12-2 C3055	【著】 張天蓉 【訳】 楊本明 石風呂貴一 定価：本体 4,800 円 + 税 212 頁 A5 正寸 上製